☆2 be 動詞と my と He is

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

現在の文で、**主語が三人称単数（I、you 以外の１人）**のとき、**be 動詞は is** とし、**一般動詞には s または es をつける。**
（例）He likes TV.（例）Does he play tennis？（例）He doesn't like TV.

英文には、必ず動詞が１つある。つまり、be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

❀ **am** アム、**is** イズ、**are** アーを、**be ビー動詞** という。
「**～です**。**～います**。**～あります**。」という意味がある。

「…は、～です。」
「…は、～にいます。」
「…は、～にあります。」
と言うとき、be 動詞を使います。

be 動詞の３つは、主語によって使い分ける。「アム イズ アーを be 動詞と言うのか。」
「ふ～ん。主語によって使い分けるのか。**それで、主語ってなぁに？**」
👉 日本語の **「～は」まで全部** を、まとめて **主語** と覚える。

〈be 動詞の区別法〉
be 動詞は、主語によります。
覚えることは、４つ。
1．主語が、自分なら am
2．主語が、話し相手なら are
3．主語が、複数なら are
●１２３以外は、is になる。
こう考えてほしいです。

＜be 動詞の使い分け＞

am 👉主語が **I** のとき。（例）I am アイアム ～.：私は, ～です。

are 👉主語が **you**、または、**2人以上** のとき。（例）You are ユーアー ～.：あなたは, ～です。

is 👉主語が **I・you 以外の１人（１つ）** のとき。（例）Aki is アキイズ ～.：亜紀は, ～です。

問題６ 次の語句が主語のとき、適切な be 動詞を、am,is,are から選びなさい。

(1) I ＿＿＿＿　(2) You ＿＿＿＿
(3) Aki ＿＿＿＿　(4) Tom and Aki ＿＿＿＿
(5) You and I ＿＿＿＿　(6) My mother ＿＿＿＿

● A and B：A と B
and は、アンドと発音する。
Taro and Jiro：太郎と次郎

be 動詞の使い分けテストです。	主語による
1．主語が、[　　] なら am	
2．主語が、[　　] なら are	
3．主語が、[　　] なら are	

be 動詞の使い分けテストの続き	am, is, are
●左の１２３以外は、[　　] になる。	
こう考えてほしいです。	
❀このページ内右の、「緑枠」で丸付けします。	

問題集は、いきなり解かない。問題と答えと解説を、セットでまず読みます。

ワークは、基本 A・標準 B・応用 C のように、「レベル分け」されています。人によっては、標準の B から、すでに難しいですよね…。

そんなときは、いきなり答えを見ます。「問題と答え」をセットで読む、という作戦です。「こう聞かれたら、こう答えるのかぁ。ほぉ～」と、ちょっと大げさに、声に出すのがポイントです。（周りに人がいるときは、心の中で）

ゼロから問題を解くだけが、勉強じゃないです。「問題と答え」をセットで見ることで、やり方が学べるでしょう？罪悪感はいらないです。

テスト当日じゃないのだから。
そして時期を見て、自力でやればいいのです。
だって勉強とは、自分のためなのだから。

重要語句を覚えるには、心で声に出し、２回書きます。

「間違えた問題」を、あなたはどうしてますか？赤ペンを入れて、それで終わりにしていませんか？

間違えた問題が語句の場合、２回書きます。
平安京 平安京のように。

そして３回目は、何も見ずに書きます。
（これを、自分テストと言います）。ちなみに練習中は、心の中で声に出しながら書きます。
「へいあんきょう、へいあんきょう」と。

英単語は、**book** なら、「ぼおく ぼおく」と、ローマ字読みを、心の中で唱えながら書きます。
famous（有名な、フェイマス）ならば、
「ふぁもうす」です。
「ふぁもうす ふぁもうす」
ですね。
このように英単語は、
ローマ字読みが、お勧めです。

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆2 be 動詞と my と He is

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

ワークを３周したい。１周目が終わって２周目は(1)(3)を、３周目は(2)(4)です。

テスト範囲のワークを３周したい。そんなときは、「間違えたところ」や、「ここは不安だな」、と感じたところだけをくり返す作戦です。

つまり２周目からは、１から１０までやらないのです。１周目を学んでいる時、間違えた問題に、☆マークをつけておくのです。そして２周目は、それだけをする。という作戦です。

あと、数学限定のお話ですが、２周目は(1)(3)と奇数だけを解き、３周目は残りの偶数を解く、という方法もお勧めです。

成績を上げる勉強とは「成績が上がらない勉強のやり方」の、逆をすれば良いです。

「成績が良いと言われている子は、どう勉強しているのかな？」と考えると、答えを見つけるのは難しいと思います。そこで、「成績が上がらない勉強方法」を考え、挙げてみてください。そしてその逆の勉強をすれば良いのです。

出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏　講談社　より

英文は、「主語＋動詞～」でできている。
（例）The book on the desk is mine.（机の上にある本は、私のものです。）
これ全部が主語　動詞　※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

Who makes dinner？（誰が夕食を作りますか。）疑問詞の主語は、三人称単数となる。

my マイ：私の～　　your ユアー：あなたの～

問題７　文を完成させなさい。

(1) This is my house.
[　　]家です。

(2) これは、あなたの本です。
This is _____ book.

(3) My mother is pretty.
[　　]です。

(4) 私は、あなたの友人です。
I am _____ friend.

(5) My mother is in the kitchen.
[　　]す。

(6) 私は、自分の部屋にいます。
I am in _____ room.

「…は、～です。」
「…は、～にいます。」
「…は、～にあります。」
と言うときは、
be 動詞を使います。

am is are（アム イズ アー）を、
be 動詞と言います。

日本語にするときは、**be 動詞の前にある語句、すべてを訳してから、**「～は」をつける。
つまり、**be 動詞前の語句は、すべてセットで主語**となる。上記の(3)(5)参照。

少し厳しいことを言わせて頂く。まず**英語と日本語は「違う言語」である**、ということを理解してほしい。
だから、**英語のルールは、英語のルールとして、覚えてもらいたい。**

「日本語では、こうだから。」ではなく、
「英語のルールだと、こうなるのか」と、
理解して、暗記を頑張ってほしいと思う。

（例）This is a pen.
（これは、ペンです。）

（例）This is my pen.
（これは、私のペンです。）

（例）This pen is pretty.
（このペンは、可愛いです。）

のように、「～の」のときは、a をつけなくて良い。

my ：私の　your：あなたの
this ：この　that ：あの

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

☆2 be 動詞と my と He is

四角語句を、線の上に
練習するでごんすよ。

英単語の覚え方：**ローマ字読みで覚える。**
book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。
これを２回、紙に書く。そして３回目は、何も見ないで書いてみよう（自分テスト）。

be 動詞：です。います。あります。
主語が複数なら are、三人称単数は is。

He is ヒーイズ ～.：彼は～です。 **She is** シーイズ ～.：彼女は～です。

She's シーズと
短縮できます。

_____

He's ヒーズと
短縮できます。

問題８ 文を完成させなさい。

(1) He is my brother.
[ ]兄です。

(2) 彼はマイクです。
_____ Mike.
彼は～です

(3) She is a junior high school student.
[ ]学生です。

(4) 彼女はシェリーです。
_____ Sherry.
彼女は～です

質問文のときは、**Is he** イズヒー、**Is she** イズシー と逆になる。

_____

問題９ 次の「質問文」を完成させなさい。

(1) 彼は、あなたの兄**ですか**。 ✿「です」→ be 動詞を使う。
_____ _____ _____ brother ?
彼は～ですか（２語）

(2) 彼女は、先生**ですか**。 ✿「です」→ be 動詞を使う。
_____ _____ a teacher ?
彼女は～ですか（２語）

(3) 彼は、台所に**いますか**。 ✿「います」→ be 動詞を使う。
_____ _____ in the kitchen ?
彼は～にいますか（２語）

●覚えておきたい単語
father ファーザー：父さん
mother マザー　：母さん
brother ブラザー：兄、弟、兄弟
sister シスター　：姉、妹、姉妹

※sister だけ h がないので注意。

father は、ファ、ティーヘル
mother は、モ、ティーヘル
brother は、ブロ、ティーヘル
sister は、システル

のように、覚えると良いです。
（ダサいですが…）

junior ジュニア：年下のほうの
high school ハイスクール：高校

まとめると、
junior high school：中学校
となります。

be 動詞を、
先頭に書きます。

「…は、～ですか。」
「…は、～にいますか。」
「…は、～にありますか。」
と言うときは、be 動詞を使います。

ワークの「応用問題は解かない。」という選択肢、十分有りだと思います。

テスト前、「ワークの応用から２つ出すぞ」と、学校の先生に言われると、その瞬間から、難しい問題ばかりを解き続ける子がいます。

難しい問題に挑戦することは、確かに素晴らしいし、やりがいです。けれども、基本１００％は、達成できていますか。

「応用ができれば、基本もできるでしょ？」と思いますか？なるほど。けれどもそれって結局基本を学ぶ。基本から学ぶ。ということと、イコールだと思いませんか。

私も塾をやっていますので、よく言われます。「先生、ワークのこの問題、分かりません」と。

よくよく見ると、たいてい「基本技術（知識）」の使いどころが分かっていないため、先に進めないケースばかりです。

実践（応用）の中に飛び込んで、不足している基本は、その都度身に付ければいいじゃん。こう甘く思っている人が多すぎます。二重飛びができない弟に、三重飛びを教えて、できるようになってもらおうとするのと同じです。

追伸：応用とは、池の周りを競争する兄弟の問題、動点の問題、空間図形の断面問題などです。

出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏　講談社　より

●挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

☆2 be 動詞と my と He is

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。**そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すでにある**ことで、復習や単語の暗記がすぐできます。

私（塾長）も、**３２ページの単語テスト、５分後にするよ**。と言いやすいです。

〈否定文〉 短縮して、否定を表すことができる。それぞれ３パターンある。

He is not ヒーイズ ナットゥ，**He isn't** ヒーイズントゥ，**He's not** ヒーズナットゥ。

彼は、
1．～ではありません。
2．～にいません。

She is not シーイズ ナットゥ，**She isn't** シーイズントゥ，**She's not** シーズナットゥ。

彼女は、
1．～ではありません。
2．～にいません。

問題１０ 文を完成させなさい。

(1) He is not my brother.（兄、弟）

彼［　　］。

(2) She is not a baseball fan.

彼女［　　］。

(3) 彼は、マイクではありません。

He _____ Mike.

(4) 彼女は、シェリーではありません。

She _____ Sherry.

(5) 彼は、太郎ではありません。

_____ not Taro.

He _____ Taro.

He _____ _____ Taro.

(6) 彼女は、亜紀ではありません。

_____ not Aki.

She _____ Aki.

She _____ _____ Aki.

(7) 太郎は、私の兄です。

Taro _____ my brother.

彼は野球選手です。

_____ _____ a baseball player.

(8)亜紀は、台所にいません。

Aki _____ in the kitchen.

彼女は、忙しいです。

_____ _____ busy.

be 動詞は、主語によって使い分ける。

1．自分→**am**
2．話し相手→**are**
3．複数→**are**

●上の１２３以外は、**is** になります。

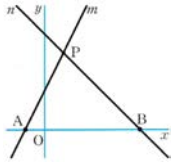
be 動詞を使う否定文。
・～ではありません。
・～にいません。
・～にありません。

この３つを言うときは、**be 動詞を使います。**

busy ビズィ：忙しい

基本ができていない生徒に応用を教えると、信頼関係が崩れてしまいます。

「先生、この三角形の面積、どう求めるんですか？さっぱり分かりません。」

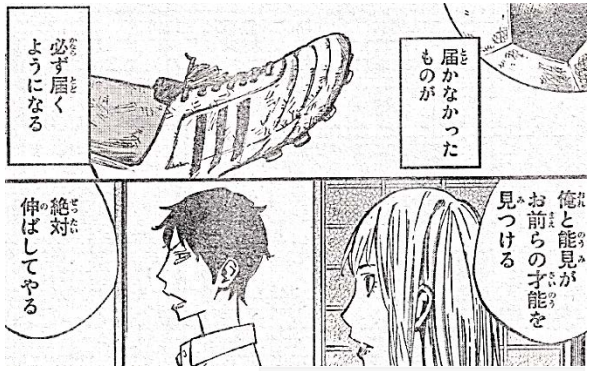


試行錯誤ゼロのノートを持って来て、こう質問されることがあります。私は答えます。「残念だが今はまだ、時期じゃない。」と。

ここで、「応用頑張って偉いね。ヒントは、ABPの座標を求めることだよ」と言ってしまうと、この子のためになりません。だって「試行錯誤ゼロ」ですよ。

このあたりを見極めて言います。「この問題は、レベル１５だよ。まだ早いよね。もう少し成長したら、また挑戦しようよ」と。

普段から厳しく指導しているので、生徒はしぶしぶ指示に従ってくれます。※普段から褒めてばかりだと…もめます。「なんで教えてくれないの？」と。こういう肝心なところで、お互いプラスになれるように、これからも厳しくします。まとめますと、たまにできる応用に惑わされずに、地道に、基本技術を完璧に身に付けよう。



出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏　講談社　より

● 不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。

まず、できる事をきっちりやり切る。
教科書を読むなど、地味な勉強もする。

私は塾生に言います。「全部できなくていい。できる事をきっちりやり切れ。そうすると、できる事とできない事との境界線が見えるから、これからやるべき事が分かるだろう？」と。

できる事をきっちりやるとは、問題を解く時だけではありません。「円周角が…」「弧 AB が…」と、言葉を覚えるために教科書を読むなど、勉強の基本にも生きます。フィンランドの子供たちは、定期テスト前になると「やばいもうすぐテストだ。教科書読まなきゃ」と言うそうです。

教科書を読むという地味な行動こそ、強く意識してやってください。良いですか？

出典「さよなら私のクラマー」
新川直司氏　講談社　より

０２　be 動詞と my と He is［解答］

［解答］be 動詞と my と He is　０２

問題６ (1)am (2)are (3)is (4)are (5)are (6)is

問題７ (1)これは私の (2)your (3)私の母は、かわいい (4)your
(5)私の母は、台所にいま (6)my

問題８ (1)彼は私の (2)He's (3)彼女は中 (4)She's
問題９ (1)Is he your (2)Is she (3)Is he

問題１０ (1)は、私の兄（弟、兄弟）ではありません
(2)は、野球ファンではありません (3)isn't (4)isn't
(5)He's / isn't / is not (6)She's / isn't / is not (7)is / He is (8)isn't / She is

（例１）**I am hungry.**という文は、
「私はお腹が空いています。」という意味です。

（例２）**I am tired.**という文は、
「私は疲れています。」という意味です。

be 動詞**(am,is,are)**は、
「です、います、あります」と訳しますが、

本質を覚えてください。**be** 動詞の本質は、
「主語は～の状態にある」ということです。よって、

（例１）**I am hungry.** は、
「私は、お腹が空いている状態です。」
ということであり、

（例２）**I am tired.** は、
「私は、疲れている状態にあります。」
という意味なのです。

このように **be** 動詞**(am, is, are)**とは、
状態を表すマーカー（目印）なのだと、思っておいてください。

● 信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。